

(様式1)

## 令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1	施設名	(所管課)
	富山県有峰森林文化公園	森林政策課
2	施設所在地	
	富山市有峰	
3	施設設置年度	
	平成14年度	
4	設置目的	
	豊かな森林を有する有峰において、森林と人との密接な関わりの中で作られた森林文化を継承するとともに新たな森林文化を創造すること。	
5	施設概要	
	敷地面積：97,828㎡ 主な施設 ・有峰ハウス（宿泊施設）：木造平屋一部二階 834㎡ ・ビジターセンター（展示室・事務室）：鉄筋コンクリート造平屋 196㎡ ・キャンプ場ロッジ（倉庫）：鉄筋コンクリート造平屋 164㎡	
6	指定管理者	
	公益社団法人富山県農林水産公社	
7	指定期間	
	5年	
	平成30年4月1日	～ 令和5年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

#### (1) 利用者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
1,909	1,489	1,607	1,464	1,175

※有峰ハウス、キャンプ場(宿泊)、テニスコート利用者数の合計

#### (2) 利用者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
11,025	12,179	16,027	15,355	20,177

※(1)を除く施設利用者数の合計

#### (3) 開催イベント参加者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
1,207	1,143	2,008	538	425

#### (4) 利用（使用）料金収入（千円）

H29	H30	R1	R2	R3
8,005	6,715	6,573	6,013	5,611

[参考] 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H29	H30	R1	R2	R3
6,365	7,097	7,122	7,229	7,229

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

宿泊施設(有峰ハウス)については、新型コロナの警戒レベルステージ3引き上げに伴い、約1か月間の予約受付停止の措置をとったため、利用者及び収入は前年比減となった。反面、ビジターセンターや芝生広場等の施設利用者数は前年比大幅増となった。これは、①紅葉シーズンが好天に恵まれたこと、②有峰が密を避けやすい場所であること、③小見線の2車線化工事完成の宣伝効果により、主に県内の日帰り利用者が増加したことが要因と考えられる。

### (2) サービス向上に向けた取組み

令和2年度に引き続き、「有峰で遊ぼう」など、不特定多数の来訪者が見込まれる行事を中止としたほか、行事の参加者人数の制限や宿泊行事を日帰り行事に変更するなど、感染症対策を実施した。その代替として、「ミニ観察会」や「森の案内人による個別案内」などの少人数を対象とした行事を積極的に開催し、来訪者へ有峰の情報発信を行った。

### (3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

宿泊施設(有峰ハウス)においては、消毒の徹底、食堂のレイアウト変更による3密の回避など、宿泊者が安心して利用できる環境作りを実施した。ビジターセンターでは、令和3年度から大型モニターによる有峰の動植物の動画・写真の投影や、遊歩道案内資料の改訂、地図情報サイトへの写真掲載を行いPRを強化した。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	有峰ハウスフロントにアンケート用紙を置いて宿泊者に記入してもらっている。(ハウス営業期間：6月～11月に実施)
回答者数	203人
結果	総合評価欄 「大変満足」 58.0% 「ほぼ満足」 40.0% 「普通」 2.0% 「やや不満」 0.0% 「不満」 0.0%
結果を踏まえた改善事項	wifiの導入を検討している。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

文化村行事ごとに、アンケートを記入してもらい、集計して、年度末の有峰森林文化村会議懇話会に報告し、次年度の計画立案に活かしている。

#### ③ 主な苦情と対応

特になし。

### (5) 個人情報保護の取組み

協定書に定める内容について、職員に通知を回っており、適切な個人情報保護が図られている。

### (6) 関係団体との連携

立山砂防カルデラ博物館や、立山博物館などの近隣施設と連携し、相互の施設のPRを行い、地区全体での利用者が増加するように努めた。

(7) 施設・設備の維持管理

遊歩道などの施設は、行事で使用する前及び2週間に1回程度、巡視点検を実施し、施設の安全利用に努め、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

クマ対策に総合的に取り組んだ(①来訪者への普及活動(パンフ配布、注意看板設置、出沒マップ掲載等)、②職員による巡回活動(生ごみの回収等)、③村内での自主活動(生ゴミ回収の徹底、侵入防止対策の実施、撃退対策の準備、適切な威嚇行為の実施)

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	6
有	2
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無し。

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

今後も新型コロナの影響により、文化村活動が制限されることが予想されるため、少人数行事や日帰り利用者への対応強化を行う必要がある。その中で有峰ならではの魅力(巨木や水資源)が感じられる行事の実施や、小見線2車線化によりアクセスしやすい場所になったことをPRし、有峰への再訪に繋がられるよう努めたい。